

平成24年度文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション助成公演

公益財団法人 花王芸術・科学財団助成公演

公益財団法人 朝日新聞文化財団助成公演

東京オペラ・プロデュース第90回定期公演

主催:東京オペラ・プロデュース

作曲:J.マスネ Jules Massenet

原作:G.フロベール G.Flaubert

台本:P.ミリエ & H.グレモン P.Milliet & H.Grémont

オペラ J.マスネ没後100年記念公演

エロディアド

"HÉRODIADE"

全4幕 原語(フランス語)上演 字幕付 日本初演

東京オペラ・プロデュースの第90回定期公演は、偉大なフランス・オペラ作曲家・ジュール・マスネ(1842-1912)の没後100年を記念し、日本初演作品である「エロディアド」を上演いたします。マスネは生涯に渡り、オペラ約39作品を作曲し、中でも「マノン」「ウェルテル」は歌劇場のレパートリーとして今日も頻繁に上演され「タイス」に至っては「タイスの瞑想曲」としてクラシックファン必須の名曲に挙げられています。「エロディアド」(1881)はマスネの大成功を収めた「マノン」(1884)の1つ前の初期大作です。

「エロディアド」と題名だけではピンと来ない方も、R.シュトラウスの「サロメ」と言えば話は別です。この両者は同一の原作をモチーフに台本が描かれています。「サロメ」はオスカー・ワイルドが手がけ、血が滴る愛憎劇になっていますが、「エロディアド」はギュスタフ・フロベールの小説「エロディアスHérodiades」を元にP.ミリエ&H.グレモンの手によって生まれ変わり、愛へのテーマが美しい旋律とドラマティックかつ重厚なアンサンブルによってドラマが展開します。この日本初演のフランス・グランドオペラの醍醐味に思う存分浸って下さい。



指揮
飯坂 純



演出
八木 清市

23日
(土)



エロディアド
福田 玲子



サロメ
鈴木 慶江



預言者ジャン
星 洋二



エロデ王
杉野 正隆



ファニユエル
佐藤 泰弘



ヴィテリウス
和田 ひでき



大司祭
白井 和之



バビロニアの娘
木村 綾子



寺院の使者
西塚 巧

24日
(日)



エロディアド
及川 睦子



サロメ
大隅 智佳子



預言者ジャン
内山 信吾



エロデ王
秋山 隆典



ファニユエル
峰 茂樹



ヴィテリウス
笠井 仁



大司祭
工藤 博



バビロニアの娘
前坂 美希



寺院の使者
西塚 巧

物語

生母を探しているサロメは王への贈り物として宮殿へ連れて来られている。彼女は占星術師ファニユエルに砂漠で知り合った預言者ジャンへの想いを告げ、彼を探しに行く。サロメの姿を求めて落胆するエロデ王に王妃エロディアドは、侮辱したジャンの首を切れと迫る。探し出したジャンにサロメは愛を告白するが拒絶される。王はサロメへの欲望を夢見る。一方エロディアドは、ファニユエルに恋敵サロメと自分の星を占ってもらおうと、サロメはあなたの娘だと告げられ半狂乱で否定する。ジャンは民衆を洗脳した罪で捕まり、サロメの愛する男が彼であると知った王は処刑を命じる。投獄されたジャンは一緒に死にたいと願うサロメに愛していると告げる。司祭がきてジャンを処刑場に、サロメを宮殿へと連れて行く。サロメはジャンの助命を請うが、処刑されたと知り、王妃を刺そうとする。王妃は自分が母だと叫び、ジャンを殺した母の血が流れていることを知ったサロメは自殺する。



〈上演会場〉
新国立劇場中劇場

〒151-0071
東京都渋谷区本町1-1-1
☎03-5351-3011
新宿駅より京王新線
初台駅下車徒歩1分

東京オペラ・プロデュース第91回定期公演
J.オッフェンバック作曲 原語(フランス語)上演 字幕付 日本初演
『ロビンソン・クルーソー』
"Robinson Crusoe"
2013年2月10日(日)・11日(月・祝) 両日15:00開演
新国立劇場 中劇場